

<目次>

- 「鷺沼駅前再開発」の問題点とは。
- 神奈川県の保健師の数は全国最悪！
- ▲お知らせコーナー
- ★編集後記

●川崎市が進める「鷺沼駅前再開発」の問題点が明らかに

住民団体「鷺沼駅前再開発を考える会」は、1月15日に学習会「鷺沼駅前再開発にはカラクリがある～本当のことを住民には知らせない」を開きました。

そして、再開発の3つの問題点を学習し、明らかにしました。

問題点の第1は、公表されたボーリングデータでも、開発により駅前付近の線路の擁壁盛り土が崩落する危険があります。

第2は、開発計画の地主である東急電鉄が、国と川崎市からの補助金で莫大な開発利益を得る。

東急は、まず総事業費550億円の内補助金を121億円も受け取ります。

さらに、区役所や市民館・図書館の移転で、土地の資産価値が上がり、莫大な利益が期待できるのです。

第3は、駅前再開発により交通渋滞が今よりひどくなることが予想されます。

この学習会を通して、再開発はだれのためかが鮮明になり、3つの問題点を周辺住民に広く知らせていくことの重要性が強調されました。

同会は、学習会の成功のために、宮前区選出の9人の市議会議員に参加要請と公開質問状を出しました。

参加は石川建二議員一人。公開質問状に回答したのは、石川建二、石田康博、大西いずみ、矢沢孝雄の4議員。

白紙提出・無回答は、田村真一郎、山田晴彦の2議員。

返信・連絡なしは、織田勝久、浅野文直、添田勝の3議員でした。

議員は市議会で賛否の採決を行うのです。

再開発推進なのか、再開発反対なのか、議員として住民に対し意思表示をするのは当然のことではないでしょうか。

<https://www.kuyakushokangaerukai.miyamae-kawasaki.jp/files/2022/02/11/c65a73cad5c1171368ff20fea542798f3216fa8a.pdf>

■神奈川県保健師の数は全国最悪！

現在、県では、オミクロン株の感染急拡大への対応として、発熱診療外来と保健所のひっ迫を理由に「自主療養制度」を打ち出し、進めています。

自主療養とは、検査キットなどで陽性が判明した際、医療機関や保健所に連絡しないことを選んだ方が自主的に自宅療養をする制度です。

しかし、陽性者として扱われず、行政からの健康観察はありません。危険です。

保健所の現場が、ひっ迫しているとはいえ、この制度は感染症法から逸脱した行為で許されません。

このような制度を導入したのは、全国でも神奈川県だけ！

神奈川県がこのような異常な制度を導入した背景には、コロナ感染対策の中核となる保健所体制が全国平均からも大きく遅れたまま放置してきたことがあります。

神奈川県の保健師の数は、10万人当たり26.9人で、全国最下位です。そして、下から2番目があの大阪府で27.7人。

一方で、1位は、健康長寿全国2位の長野県で、82.6人です。

(厚労省「衛生行政報告例の概況(就業医療関係者)」2020年末データによる)

そして、川崎市は、県よりさらに保健師の数が少ない！調査年2018年で少し古くなりますが、10万人当たり全国平均41.9人、県23.5人、川崎市19.3人と、川崎市はさらに少なくなっています。

(「かわさき保健医療プラン」のデータより)

神奈川県と川崎市が、いのちを守る行政の遅れを市民の自主努力で切り抜けようとするのは、大きな間違いであり、行政の転換を求めます。

当面、発熱や自主検査で陽性となったら、自宅療養は選ばず、かかりつけ医に相談するか、川崎市相談窓口(コロナのコールセンター／044-200-0730)に電話するうにしてください。

▲お知らせコーナー

☆「登戸まちづくり緊急学習会」

講師：岩見良太郎氏(埼玉大学名誉教授)

3月5日(土)14時より多摩市民館第4会議室+オンライン

資料代：300円 どなたでも参加できます。

問い合わせ：日本共産党川崎北部地区委員会 044-281-3501

オンライン申し込み：email@iguchi-mami.jp

主催者フライヤーは以下のイベント情報に掲載中

<https://newkawasaki.jp/>

☆学習会「米中覇権争いと日本！」-改憲問題にも関わって

講師：末浪靖司氏（ジャーナリスト）

2月27日（日）18時開場 18時半より・産業振興会館+オンライン

<https://us02web.zoom.us/j/81126187682?pwd=NEJHRGF6L25TbmIrei9YZmRUMFg3Zz09>

ミーティング ID: 811 2618 7682 パスコード: 614996

主催 幸革新懇

問い合わせ：坂内 080-5653-6196

主催者フライヤーは以下のイベント情報に掲載中

<https://newkawasaki.jp/>

★編集後記

冬期五輪が閉幕しました。

いくつものメダルを獲得し、上位に食い込む日本の選手達の活躍に感動します。

一方、ドーピング疑惑の少女に複雑な思いを抱き、ウクライナにも思いをはせます。

スポーツにはお金がかかり、日本でも裕福で無いとスケートは出来ません。

スケートリンクも経営が大変で、閉鎖が相次いでいます。

ロシアでは選抜式で選手を育て、国費で選手を養成します。

スポーツが、国威発揚に利用されたり、利権の具とされるなど、本来の姿とは違った形での発展が背景にあります。

浅田真央さんが、今季メディアにも現れず、「真央リンク」の実現に奔走していると言います。

五輪選手養成や、スターづくりでは無く誰でも自由にスポーツを楽しめる環境が望まれます。

軍事費を減らしてスポーツ環境充実。これこそ平和の祭典です。（Y）